

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-41 成人健康診査事業						
主管課	市民健康課	関連課	保険年金課				
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	市民の疾病予防と健康の維持						
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源 状況	事業の対象者数				対象者(H22) 肝炎 624人 歯周疾患 7774人 キット健診 12032人 (重複しているため対象者 数不明)		
	決算値(千円)	4,966千円	5,590千円	33,584千円			
	(国・県)	2,060千円	1,625千円	2,636千円			
	(負担金等)	0千円	0千円	0千円			
	(一般財源)	2,906千円	3,965千円	30,948千円			
	人員配置数	0.5人	0.5人	0.5人			
	人件費(千円)	4,398千円	4,638千円	4,683千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー	鎌倉市医師会・検診機関 鎌倉市歯科医師会	鎌倉市医師会・検診機関 鎌倉市歯科医師会	鎌倉市医師会・検診機関 鎌倉市歯科医師会			
	総事業費(千円)	9,364千円	10,228千円	38,267千円			
	市民1人当 りの経費(円)	53円	58円	217円			
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
キット健診・肝炎健診・歯周疾患健診の受診者数	△	目標値	-	-	-	-	-
実績値		1,574人	1,400人				

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。			②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。			
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。			④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。			
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)		⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止		
成人健康診査事業	4,966千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	△	④公平性	○
	事業の概要	・若年期からの生活習慣病予防のため20~39歳の方に検査キットによる健診を実施する。 ・20・24・28・32・36・40・50・60・70歳の方に歯周疾患(歯科)健診を実施する(問診及び口腔内検査を含む)。							
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性	
	事業の概要								
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性	
	事業の概要								
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性	
	事業の概要								
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性	
	事業の概要								

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)	
H22年度の課題	・キット健診の受診率がなかなかあがらない。 ・歯周疾患健診も受診率が低迷しており、周知啓発に力を入れることが必要である。
課題解決のための取組	ポリオの予防接種の際に、キット健診の対象年齢層と考えられる父母宛にキット健診の周知チラシを配布した。
未解決の課題	受診率を上げるため、新たな健診に対する周知啓発策を考える必要がある。
今後の方針	食育等関連事業の記事上に掲載する等、広報を拡充していく。 健診を受けて生活習慣病予防につなげる機会を提供する等、健診後のフォローを充実させていく。
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 ⇒ C ※ <input type="checkbox"/> 事業完了 課長名 市民健康課長 大澤 一則

